



福島県立梁川高等学校
令和元年10月4日
校長だより
知性 誠実 責任
第 42 号

■ アクティブ・ラーニング

大学の教育改革が叫ばれる中で、注目されるようになったのが「アクティブ・ラーニング」です。現在では高校や小学校・中学校でもアクティブ・ラーニングを取り入れた動きが見られるようになりました。

アクティブ・ラーニングとは、学習者である生徒が受動的となってしまう授業を行うのではなく、能動的に学ぶことができるような授業を行う学習方法です。具体的には、教師による一方的な指導ではなく、生徒による体験学習や教室内でのグループ・ディスカッションやグループでの活動を中心とするような授業のことを指します。ただし、学習の形態がグループになったからといって生徒が自ら考えるようになっていなければアクティブ・ラーニングとは言いません。

アクティブ・ラーニングは大学の教育改革が進む中で取り入れられるようになり、それがさらに小学校や中学校、高等学校にまで及ぶようになりました。このようになってきた背景には社会の経済状況の変化に伴った社会に求められる人材の変化があります。情報化社会、グローバル化など時代の流れによって、これまで作り上げてきた様々な社会の仕組みも崩れることとなり、社会に対応した仕組みへの変更が必要となりました。

こうした状況の中で日本の教育は、それまでの大量生産時代に合わせて設計された標準化を目指す授業ではなく、自由化・多様化へと教育の重心が移ることとなります。その人が社会で活動していくための土台づくりだけでなく、多様性や創造性といった力をつけることで新しい社会を創っていくような人材となるように教育が変わってきました。ただ知識を増やすだけでなく、その知識をどう生かすことができるかが重要となってきます。

こうした時代背景があり、自分で考える力、物事を動かす力、能動的に物事に取り組む力を育成するためにアクティブ・ラーニングが注目されるようになりました。

日本の高校での実践を紹介します。ある高校の校外研修は、鎌倉や信州のように大きな目的地のみ決められ、現地での行き先などは決められていません。各自でテーマを決めてクラスに関係なく似たテーマを持つグループで行動することになっています。そのテーマに基づいて事前学習、フィールドワークをし、最後にプレゼンテーションを行うという流れになっています。

このような学習により、座学中心の一方的な教授方法では身につくことの少なかった自ら学ぶ力が養われることが期待されています。

本校の2年生が、総合的な学習の時間でグループごとにテーマを決め、調査活動を行い、その成果を発表する学習を行いました。この学習のゴールは、修学旅行における京都でのPR活動です。本校の生徒も自分たちで考え、行動する力が少しずつ備わってきていると思います。

■ アクティブ・ラーニングの実践 ～本校2学年現代文B～

本校2学年の国語の授業で、アクティブ・ラーニングを取り入れた学習が展開されました。

〔学習の目標〕 グループで話し合うことにより、根拠のしっかりした意見を文章にまとめる。

〔テーマ〕 小学生の「置き勉」に賛成ですか反対ですか

〔学習の流れ〕 ① 「置き勉」についての新聞の投書を読み、内容を理解する。

② ワークシートに学習前の意見文として自分の意見をまとめる。

③ グループでテーマについて話し合い意見をまとめる。

④ グループで意見を発表し、個人の感想をまとめる。

⑤ 再度意見文を個人でまとめる。

生徒が書いた意見文を紹介します。

私は小学生の「置き勉」に賛成です。

B子さんの「ランドセルが重すぎる」というところと、「忘れ物が減る」というところ、A子さんの「予習や復習の習慣をつける必要があると考えるため、全ての教科書を持って帰る方がいい」というところから、置き勉をすることに賛成です。

なぜなら、全ての教科書を毎日持ち帰っていたら、なかなか重いのと持ち帰るものが多いと余計に忘れ物をしてしまったりするのではないかと思ったからです。私が中学生のとき、置き勉がだめで毎日持ち帰っていましたが、確認し忘れてたり、家に置きっ放しにしたりしてしまうことが多かったから、置き勉をしてもよいのではないかと思います。

予想される反論としては、予習や復習をしないのかということだと思います。

再反論は、その日に勉強したノートなどを授業の合間の休み時間などに少し見ておくだけでも十分だと思います。

今回の新聞記事を読んで感じたのは、その日やった教科を持ち帰って勉強すればいいのではと思いました。全教科毎日持ち歩くのは体力的に厳しいと思うので、その日行った授業でわからなかったところがあれば、持ち帰って復習したら一番効率的だと思いました。

私は、小学校の「置き勉」に反対です。

A子さんの「家で必要な教科書を忘れると困ります」というところと、C夫さんの「思考や体力の基礎を養うという意味で、小学生は大切な時期である」と「置き勉について将来を見ずえて考えを深めた」というところから置き勉に反対です。

A子さんのところは、その日の復習ができず、次の日の授業に取り組みづらいつ感じました。また、復習などテストに向けて成績を上げるよう努め、使いたいときにその物がないのは不便だと思いました。次にC夫さんのところでは、国語、算数、社会など一番基本の授業を初めて行うのは小学校だと考えました。だから心身の基礎を養うためにも教科書を持ち帰るべきだと思います。最後に私の体験したことで、中学のとき、テストが近づいているのにもかかわらず余裕をもって置き勉をしていました。そのため、テストの点数はわるく、今思えば「あのとき置き勉をしなければ少しは点数が取れていたはずなのに」と後悔しています。

高校に入ってから、ハッピーノートなどテストに向け、何教科かごとに教科書を持ち帰って勉強しています。後悔を減らしていき、楽しい将来を送りたいと思っているので、勉強はこれからも頑張っていきたいです。これらのことから置き勉に反対です。